

小中学校で入学式

4月11日に村内2つの中学校で、同12日に村内5つの小学校（新1年生25人）で入学式が行われました。昨年、台風14号で体育館が床上浸水するなど大きな被害を受けた鹿野遊小（田原三知校長 児童10人）では、5人の新入生を迎えました。今年3月に床が張り替えられたばかりの体育館で、地域の方も多数見守る中、校長先生が新入生にそれぞれ教科書を手渡した後、祝辞を贈りました。また、在校生が学校生活の様子を寸劇で紹介したり、新入生と一緒に手をつないで歌をうたったりと大歓迎。全校児童10人中、5人が1年生となりますが、地域の方は学校が賑やかになると大変喜んでいました。



▲周辺は復旧工事の真っ最中。体育館では重機の音に負けない元気な声が響き渡っていました。

シャクナゲが満開に

4月中旬、村内でシャクナゲの花が満開となりました。3月下旬から気温が高かったせいか例年より10日ほど早い開花で、サクラが散ってすぐの道路沿いや集落などを鮮やかなピンク色の花が彩りました。

シャクナゲの群生地と知られる扇山では、昨年より花の数がやや少なめとのことですが、麓に位置する松木集落などでは大輪の花が数多く開花。春も深まった新緑の中、地元の方や通りかかった観光客の目を楽しませていました。



▲シャクナゲや桃の花で彩られた松木集落。

「大河内癒しの森」森びらき

4月23日、大河内地区横鼻峠で「大河内癒しの森」森びらきが行われました。同地区では、昨年から地域活性化の一環として天然林豊富な自然を生かした事業に取り組み、これまで九州大学宮崎演習林や公民館、地元の方々の協力で遊歩道を作り「大河内癒しの道」を整備。今年3月までに3コースが完成しました。また、同時に「大河内森林ガイドの会」を結成し、講習会などを経て資格を持った7人のガイドを養成。地域住民だけでなく、広く都市住民の癒しとセラピーの場を提供し、「森林セラピー基地」として確立させることを目指しています。

同日の森びらきには、関係者をはじめ県内外から訪れた30人でアケボノツツジや新緑に囲まれたルートをゆっくり歩きながら森林浴を楽しみました。

■問い合わせ先 大河内森林ガイドの会事務局(TEL0983-41-8433)



▲有料で安心してガイドを依頼できるほか、好みのコースの選択もできます。

長寿学園で菊づくり講習会

4月24日、村開発センターで長寿学園「花の人サークル」の第1回講座が行われました。同サークルは村内の高齢者35人を受講生に、互いの交流を図りながら多目的に学ぶもので、年間15回の講座が計画されています。

1回目となる今回の講座は、黒木隆夫さん(吐野々)を講師に招いての菊づくり講習会。黒木さんは村内各地で菊づくりの指導を献身的に行い、地域活性化に貢献されています。今後は数回の講座を経て、平家まつりが行われる秋に大輪の菊の花を咲かせたいとのこと。ほかにも宿泊研修や英会話教室、柚子コショウづくりなどが予定されていて、高齢者が生きがいの持てる多彩な内容となっています。



▲黒木さんの講座を熱心に聴く受講生の皆さん。